

C O₂排出枠購入で盾

岐阜信金、紹介の10社に贈る



県営林Jークレジット記念盾を受け取った10社の代表ら＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本部

岐阜信用金庫は14日、同金庫の紹介で県の県営林Jークレジット(排出枠)を購入した10社に、森林維持と脱炭素経営の実践をたたえて記念盾を贈呈した。

Jークレジット制度は、間伐などを実施して適切に管理されている森林の二酸化炭素(C O₂)吸収量を国が認証し、販売可能なクレジットとして発行する仕組み。高山市久々野町の県営林約440㌔から創出されたクレジットのうち、10社は8月に10㌔ずつを県から

購入した。同金庫は県への企業の紹介業務などに関わっている。

岐阜市神田町の同金庫本部で贈呈式があり、好岡政宏理事長が各社の代表者に盾を手渡した。好岡理事長は「環境は大きな課題なので、お互いに関わっていきたい」とあいさつ。企業を代表して内藤建設(岐阜市)の内藤宙社長は「県は収益を県営林の整備に充てるのでお金が循環する。地域密着型の企業には持続可能な経営につながる」と話した。贈呈を受けた他の9社は次の通り。

石原電機工業、カワボウテキスチャード、立保、艶金、徳田工業、野田クレーン、フジ精密、マテリアル東海、山口化成